

1年生の「総合的な探究の時間」において、外部講師を招いて「日本舞踊」と「茶道」の授業を行いました。

国際化がますます進展する中、国際社会に貢献し、世界の人々から信頼されるためには、異文化に対する理解を深めていく必要があります。異文化を理解し大切にしようとする心は、自国の文化理解が基盤となって育まれます。そのため、本校では、生徒たちが日本の伝統・文化のよさや豊かさに気づき、その価値や意義を理解するための取組を進めています。これらの活動をとおして、自分の生まれ育った郷土や自国に誇りと愛着をもち、自分が日本人であるというアイデンティティを確立するための教育を推進しております。



講師の先生の舞踊を見学しました。



講師の先生から、お抹茶の点て方といただき方を学びました。



扇子を使って日本舞踊の体験をしました。



自分で点てたお抹茶をいただきました。